



## ぎおんまつり 京都の祇園祭は、何のために行われたの



平安時代に、<sup>えきびょう</sup>疫病が退散するようにいのった<sup>もよお</sup>催しが始まり、と伝えられているんだよ。

### やさかじんじゃ 祇園祭は八坂神社のお祭り

毎年7月に行われる祇園祭は、<sup>あおいまつり</sup>葵祭・時代祭とともに「京都の三大祭」とよばれる、京都市の代表的なお祭りです。これは、祇園の八坂神社の<sup>しんれい</sup>神霊（<sup>みたま</sup>神の御霊）を、<sup>うじこ</sup>氏子の町々にむかえるためのお祭りで、<sup>ぎおんごりようえ</sup>祇園御霊会・<sup>ぎおんえ</sup>祇園会ともよばれます。祇園ばやしとともに華やかな<sup>はな</sup>山車が<sup>だし</sup>くり出す「<sup>やまぼこじゆんこう</sup>山鉾巡行」（17日・24日）や、家々の<sup>よいよいよま</sup>きに<sup>よいよま</sup>ちょうちんが下がる「宵々山」（15日）、「宵山」（16日）は、特にたくさんの人々でにぎわいます。八坂神社は、スサノオノミコトなど3神を祭った神社で、昔は<sup>ぎおんしゃ</sup>祇園社・祇園天神などともよばれました。

### 平安時代に、疫病を退散させるために始まった

平安時代の869年に、全国で<sup>かんせんしやう</sup>疫病（<sup>かんせんしやう</sup>感染症）が流行し、この疫病は、祇園社に祭られているスサノオノミコトの<sup>たたりだ</sup>たたりだ、といわれました。そこで、<sup>しやし</sup>社司（<sup>しやし</sup>神主）の<sup>うらべひろまる</sup>卜部日良麻呂は、<sup>ほこ</sup>当時の日本国内の国の数にちなんで、66本の<sup>ほこ</sup>鉾を立て、<sup>みこし</sup>神輿とともに<sup>しんせんえん</sup>神泉苑（<sup>しんせんえん</sup>天皇が遊ぶためにつくられた庭園）に送って祭り、疫病を退散させるための<sup>きがん</sup>祈願を行いました。これが祇園祭の始まり、と伝えられています。平安・<sup>かまくらじだい</sup>鎌倉時代の祇園祭は、<sup>でんがく</sup>おどり（<sup>でんがく</sup>田楽おどり）が中心で、今のように山鉾巡行が中心になったのは、室町時代からです。

